

春合宿報告書

報告者 木村

1. 実施日

2016年3月11日(金)～3月13日(日)

2. 行動記録 (徒歩→ バス⇒ 電車⇒)

1日目

奥多摩駅	⇒	鴨沢バス停	→	堂所	→	七ツ石小屋	→	奥多摩小屋
着		09:17		11:54		13:14		14:52
発 08:40		09:40		12:00		13:26		

朝は誰一人遅刻することなく集合することができた。鴨沢バス停につくと土居さんがいらして、お汁粉とココア頂いた。また千葉さんからは激励のメールを頂いた。バス停で準備運動をした後出発したのだが、時間に余裕もあったため雪合戦をしたりしながらのんびりと登った。その日は終日雪が降っていたのだが、歩きにくくなっている場所も特になく無事に奥多摩小屋に到着することができた。奥多摩小屋に宿泊しているのは私たちだけだったという事と次の日の計画にとても余裕があった事から、その日は夜遅くまで楽しく談笑した。



2日目

	奥多摩小屋	→	小雲取山	→	雲取山	→	雲取山荘
着			11:27		12:12		12:58
発	10:50		11:32		12:30		

2日目は前日の就寝時間が遅かった事もあり、普段の山行と比べ起床時間が遅くなった。2日目も1日中雪が降っていてとても寒かった。雲取山頂までの道中では土曜日だという事もあり他の登山者もちらほらと見受けられた。頂上に着くと他の登山者に集合写真を撮ってもらったり、県境を跨いでみたりと楽しい時間を過ごした。山頂から雲取山荘までは下りだったのだが、雪が踏み固まっていて少し滑りやすかった。また、雲取山荘では水が小屋から支給されることになっていて、限られた量しか支給されないため大切に使用した。



3日目

雲取山荘	→	大ダワ	→	白岩小屋	→	地藏峠	→	炭焼平
着		07:03		08:14		10:05		10:29
発		07:12		08:20		10:12		10:29

	三峯神社	→	神の湯	➡	西武秩父駅
着	11:10		12:35		17:06
発	12:03		15:40		

3日目は快晴でとても綺麗な朝日を見ることができた。この日は滑りやすいと言われていた箇所があったためアイゼンを着けてから出発した。しかしほとんど滑りやすいところもなく、安全に下山することができた。三峯神社では恋みくじをしたり、お参りをしたりと観光を楽しんだ。お風呂は本殿の脇を曲がったところにあり、とても分かりづらかったため少し迷ってしまった。しかしほぼ貸し切り状態でとてもゆっくりすることができた。



3. 振り返り

今回の春合宿は今までの山行の中でもかなり余裕を持った計画であった。積雪量が多かった場合に備えて計画に余裕を持たせたのであるが、想像していたより積雪が少なかった事とプレ春合宿で登った大菩薩で雪山に少し慣れることができた事から、かなりコースタイムより早く登りきることができた。また体力的にも精神的にも余裕ができ、いつも以上に部員との親睦を深めたり景色を楽しむこともできた。

ただ気をつけなければいけないことも多々ある。特に気をつけなければいけないと思ったのは登山靴の管理だ。登っている最中に付いた雪を放置しておくとなすぐに凍ってしまい履けなくなってしまう。また冷たくなった靴をずっと履いていると指先が冷え、凍傷の原因にもなってしまう。そのため、靴を脱いだらすぐに付いた雪をはらう、中が濡れていたなら新聞紙を詰めておくなどしっかりと管理する必要がある。とても当たり前のことであるが、私はあまりにも外が寒く少しでも早くテントに入りたい気持ちから1日目は靴の管理を怠ってしまった。そのため2日目の朝には靴が凍っていて履くのにとっても苦労した。以後気をつけたいと思う。